

心理学統計法

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》西塚 拓海 (非常勤講師)

【概要】

この講義では、心理学研究において広く用いられている質問紙を使った調査研究に多用される多変量データ解析において用いられる代表的な技法を解説する。統計ソフトの活用方法を身につけることによって、統計学的な正しい知識に裏付けされたデータの分析方法や読み取り方法の知識、技術を身につける。また、多変量データ解析を活用した質問紙法の意義や実施の方法、結果の分析方法について理解を深め、調査研究の立案、質問紙の作成・分析を自ら行えるようになることを目的とする。

【学修目標】

HADを用いた各種統計技法の分析ができる。

質問紙法の目的・実施方法・結果の分析方法についての知識を身につけ、質問紙を作成できるようになる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

公認心理師